

TIC 案内業務事例

【 「V」 通信 465 号 2020 年 2 月 21 日 】

中国 女性 1 名 20 代

Q:3 日間の Greater Tokyo Pass を購入したい。

A:パスは 3 日間有効で 7,200 円だが、関東地区のほぼ全ての交通機関(私鉄各線・地下鉄・バス)が乗り放題となるため、関東圏を広範囲で移動するには非常に便利である。当初は横須賀と鎌倉に行く予定であったため、個別に片道切符を購入したほうが経済的と思われた。しかし、よくよく確認すると他にも春日部市と千葉市にも行きたいとのことで、いわゆる「聖地巡礼」に類するこだわりの旅であることが分かった。横須賀市は X Japan の Hide(1964-1998)が生まれ育った場所、鎌倉市は「スラムダンク」の聖地(鎌倉駅前の踏み切り周辺、バスと徒歩移動含む)として認識している。また、春日部市は漫画「クレヨンしんちゃん」の活躍の場所、千葉市は「嵐」のメンバーの 1 人、相葉雅紀氏の実家(中華料理店)がある場所ということで、ぜひ訪れてみたいとのことだった。パスは対象区間であれば運賃を気にせず自由に乗り換え、乗り降りが可能であり、上記 4 カ所以外にも立ち寄りやすい場所があれば利用できるという利便性がある。よって TIC から最寄りの販売所である東京メトロ(丸の内線)東京駅の定期券売り場(案内所)を紹介した。

アメリカ 女性 1 名 40 代

Q:林家二楽という紙切り師の芸を子供たちに見せたい。

A:アメリカ在住の女性より、「以前林家二楽という紙切り師の芸を、東京国立博物館のお正月イベントで見たことがあるが、子供たちに日本の伝統芸能として見せてあげたい」とのこと。国立博物館の年始イベントを調べてみたが、紙切り芸は予定されていなかった。また、林家二楽のスケジュールを調べてみると、元旦からほぼ毎日様々な演芸場に出演しているが、どれも落語や講談の合間に行われている。よって、紙切り芸だけ見たくても公演は全体で約 3 時間、入場料も 3,000 円以上かかってしまう。他の紙切り師も同様で、やはりイベントの合間に芸を披露するという形式であった。女性は子供たちを引きつける二楽の芸風に好感を持ったようで、彼の芸をメインに見たいと希望していたが、探した限りでは、1 月はそういったイベントがなく、「今回は諦める」と言われた。また夏休みに来日されるようなので、次回に期待するとのことだった。

フランス 男性 1 名 20 代

Q:日本各地の景色を写真に収めて巡りたい

A:写真家で初来日。約 2 週間の旅程がすでに組まれており、まずは都内を回ってから、翌日以降長野、静岡(伊豆)、京都、大阪、直島などを予定している。フランスでは見られないような寺社仏閣や橋、自然風景などを事前にネットで調べており、ゆくゆくは日本全国の写真を撮るため、今回はその第一段階だと話していた。また会話の中で、『鳥取のデューン』はどこにあるのか」とのご質問。鳥取砂丘(Tottori Sand Dunes)のことで、

岡山から特急スーパーいなばで約 2 時間弱で鳥取市内へのアクセスが可能と案内。砂丘以外にも、倉吉市や国宝の投入堂で有名な三徳山三佛寺のある三朝温泉エリア、境港(水木しげるロード)なども回ってみたいとのことだったので、それぞれ場所とアクセスの確認をした。しかし、直前に訪問する直島での滞在状況によっては、鳥取まで足を伸ばすことが難しい可能性もあり、検討するとのことだった。無事に砂丘の写真が撮れたか気になるところだが、今後再来日の可能性も高く、その際に改めて鳥取エリアを訪れるであろうと思われた。